

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.9.6

No. 40



## 就職希望者危機意識を持ち最後の詰めを！

就職希望者の応募書類を各企業に先週発送し、今週後半あたりから、試験がいつか等の連絡が来ると思います。連絡が来次第各自にお伝えします。就職試験は16日から始まりますので、2週間くらいのうちにいよいよ本番です。面接練習、学科試験対策等は万全でしょうか？

校長先生にも面接指導をお願いしていますが、先日校長先生の面接を受ける際に、だらしのない格好で面接を受け注意された生徒がいたとのこと。また、無断で帰ってしまった生徒もいました。他の先生方をお願いした中にも同様の生徒は何人かいたと思います。あくまでも面接練習だからと甘く考えていたのかもしれませんが、あまりにも安易に捉えている状況に唖然とします。もう少し真剣さが必要でしょう。

3年生全般に就職試験を前にした切迫感と真剣さを感じられません。私は進路の係として今年度の就職試験の結果にかなりの危機意識を持っています。今の皆さんの状況では不合格者が少なからず出るように思えてなりません。何としても一人でも多くが合格して欲しいと願っています。後で悲しい思いをする一人に入らない為にも、もっと危機意識を持ち、残されたわずかな期間を有効的に活用し、本番に備えましょう。

## 「はやぶさ」帰還の教訓

今年の6月13日小惑星探査機「はやぶさ」が地球へ帰還したというニュースが大きく報じられ記憶に残っている人もいます。「はやぶさ」は、太陽の周りを回っている小惑星イトカワ(535 × 294 × 209 m)に着陸し、サンプルを持ち帰ることを目的に2003年5月9日に打ち上げられました。

しかし、イトカワに着陸時にアクシデントがあり、その後離陸したもののエンジンの故障により姿勢制御が不能となり、一時は「はやぶさ」を見失ってしまいました。しかし科学者達は様々なアイデアを出し、全て停止した2台のエンジンの使える部分を組合せ、1台のエンジンを復活させました。しかし、それを動かしたり通信のためのエネルギーを得るために、3ヶ月後に太陽パネルが太陽の方向を向く確率が60パーセントになると計算し、その可能性に賭け一時は見失った「はやぶさ」を見つけ出し、姿勢制御を図り、結果的に見事に地球へ帰還させることが出来ました。

様々なハプニングのたびに絶望視された地球への帰還を、科学者達は最後の最後まであきらめず、わずかな可能性に賭けたのです。「はやぶさ」に関わった科学者達の「最後の最後まであきらめない」という執念とその成功は多くの人々に感動を与えました。

私達の人生でも、困難にぶつかったり、突発的なハプニングに遭遇したとき、当初の思いをあきらめてしまいがちですが、簡単にあきらめず、その時点でやれる可能性のあることはとことんやってみるという姿勢は、私達が学ぶべきことでしょう。もとより努力せずに成功は得られません。進路選択を前にした皆さんもこの「はやぶさ」の教訓をしっかりと学びとって欲しいものです。

おつかいできた

